

令和7年度 山形大学入学者選抜試験問題（学校推薦型選抜Ⅰ）

農学部 食料生命環境学科

小 論 文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は、9時から10時30分までです。
3. 試験が始まったら**解答用紙2枚すべてに受験番号を正しく記入**してください。
受験番号が正しく記入されていない場合は、採点できないことがあります。
4. 解答はすべて解答用紙の指定されたところに記入してください。
5. 解答用紙の注意をよく読み、指示にしたがって解答してください。
6. この問題冊子の本文は、**1ページから3ページ**までです。
7. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
8. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

配布物は、問題冊子1冊（本文3ページ）、解答用紙2枚、下書き用紙1枚です。

入学試験問題用紙

令和7年度学校推薦型選抜Ⅰ

試験科目 小論文

山形大学農学部

問 題
問題1 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。
著作権の関係上、省略します。

(河上多恵子：食が危ない！食料危機があなたの食卓を襲う、PHP研究所、p.60-62、2008年より一部改変して引用)

- 問1 下線部①について、食生活の変化によってカロリーベースの食料自給率が低下し、その後も低迷しているが、その原因について、日本の畜産物の自給率の現状を中心に200字以内で説明しなさい。

[語句の説明]

カロリーベースの食料自給率：

日本の食料自給率は「カロリーベース（供給熱量ベース）」と「生産額ベース」という2つの物差しで算出されており、「カロリーベース」は、国民一人あたりの摂取カロリーのうち、国産品が占める割合を計算したもの。

- 問2 下線部②について、飼料の国内生産量の拡大を図るための施策として、「耕畜連携」の取り組みが推進されているが、「耕畜連携」の重要性について、耕種農家（主にコメやムギなどの作物を生産する農家）と畜産農家のメリットを合わせて200字以内で説明しなさい。
- 問3 下線部③について、近年になって、トウモロコシを始めとする飼料価格が高騰し、飼料の輸入が困難な状況になっているが、飼料価格の高騰要因を2つ以上挙げて合わせて100字以内で説明しなさい。

入学試験問題用紙

令和7年度学校推薦型選抜Ⅰ

試験科目 小論文

山形大学農学部

問 題

問題2 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

(林野庁：令和5年度 森林・林業白書、令和6年6月4日公表、p.5-6より一部改変して引用)

- 問1 下線部①の「里山の広葉樹林等」について、近年の里山林の荒廃の要因をまとめて、200字以内で述べなさい。
- 問2 下線部②の「パルプ用材」について、現在、我が国は世界有数の紙・板紙の消費国である。これまで、国内の大手製紙会社はその原料となるパルプ用材の多くを熱帯域の発展途上国から輸入してきた。パルプ用材は、早生樹の一斉造林の大規模プランテーションの造成によって大量に生産されてきた。このことによって懸念される問題について、200字以内で述べなさい。
- 問3 下線部③の「約1,000万ha」について、我が国は第二次世界大戦後の拡大造林政策によって、現在、森林面積のうち約4割を人工林が占めている。スギの単一樹種が大面積に一斉造林された人工林が多いことで、問題も生じている。どのようなことが問題となっていると考えられるか。日本のスギ林特有の問題について100字以内で述べなさい。